悪魔のような女（1955）

LES DIABOLIQUES
DIABOLIQUE

メディア 映画
ジャンル ミステリー
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 107分
初公開日 1955/07/26
公開情報 東和
映倫 G

【解説】

Ｐ・ボワローとＴ・ナルスジャックのミステリを、Ｈ＝Ｇ・クルーゾーが映画化した作品で、「恐怖の報酬」（52）とはまた質の異なる突出したサスペンス描写に彩られた傑作。

舞台はパリ近郊の寄宿学校。校長のミシェル（Ｐ・ムーリス）は妻クリスティナ（Ｖ・クルーゾー）の莫大な財産の上に今の地位を築いていたが、その横暴ぶりにクリスティナの心労は極みに達していた。ミシェルの愛人でもある女教師ニコル（Ｓ・シニョレ）は彼女に同情し、二人して彼の殺害を企む。クリスティナとニコルは週末を利用してニコルの実家に赴き、ミシェルへ離婚の決意を告げる。やがて彼女を連れ戻そうと現れたミシェルは、薬入りの酒を飲まされバスタブで溺死させられる。死体をトランクに隠すと、学校に戻りプールの底に沈めてしまうクリスティナとニコル。後は死体が誰かに発見されるのを待つばかりであったが、なかなかその状況が生まれない。やむなく理由をつけてプールの栓を抜くことを命じるクリスティナ。だが、そこにはミシェルの死体など存在しなかった……。

ここから先の物語は礼儀として記す訳にはいかないが、じわじわと醸造される緊迫感、白黒の映像だからこそ活きてくる怪しい雰囲気など、全編に渡って実に巧妙な造りである。７４年に“ＲＥＦＬＥＣＴＩＯＮＳ　ＯＦ　ＭＵＲＤＥＲ”（監督ジョン・バダム）としてＴＶムービー化された他、９６年にはシャロン・ストーンとイザベル・アジャーニ共演によるリメイクも製作された。

【クレジット】

監督	アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー	Henri-Georges Clouzot
原作	ピエール・ボワロー	Pierre Boileau
	トーマス・ナルスジャック	Thomas Narcejac
脚本	アンリ＝ジョルジュ・クルーゾー	Henri-Georges Clouzot
	ジェローム・ジェロミニ	Jerome Geronimi
撮影	アルマン・ティラール	Armand Thirard
	ロベール・ジュイヤール	Robert Juillard
音楽	ジョルジュ・ヴァン・パリス	Georges Van Parys
出演	シモーヌ・シニョレ	Simone Signoret
	ヴェラ・クルーゾー	Vera Clouzot
	ポール・ムーリス	Paul Meurisse
	シャルル・ヴァネル	Charles Vanel
	ジャン・ブロシャール	Jean Brochard

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.